

さあ、新しい年度の始まりです。気持ちも新たに目標持ってこの一年頑張しましょう。

平成 24 年度看護部方針

看護部長 久米淳子

新常滑市民病院は、基本設計の段階に入りました。

「コミュニケーション日本一」の基本理念を実現させるのは、私達職員のひとりひとりで。今年もポジティブに頑張しましょう♪

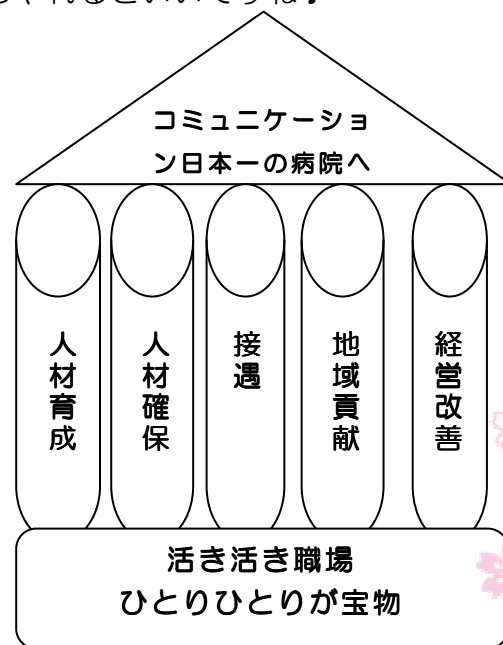
さて、今年度の看護部は、従来の「人材育成」「接遇」「経営改善」の 3 本柱（目標）に加え、新たな 2 本の柱を立てて、取り組んでいきます。（※下記の概念図参照）

新たな 2 本の柱とは、「人材確保」「地域貢献」です。この 2 本の柱（目標）について、簡単に説明します。

「人材確保」については、新職員採用だけを指しているだけではありません。今いる人たちが離職せずにすむ職場環境づくりが大切だと思っています。「WLB を実現できる働き方は？」をテーマに夜勤交代勤務の在り方を踏まえ、どうしたらひとりひとりが生き活きと働き続けられるのかを共に考えていきたいと思っています。

「地域貢献」については、改めて言うまでもなく、地域の人たちに支えられ必要とされてこそその市民病院です。良い医療を提供していくことはもちろんですが、そこに留まるのではなく、一歩進んで、地域の人たちに親しんで頂けるよう積極的に活動を起こしていきます。まずは、子育て支援協議会「医療部会」への参加です。地域の人たちの様子・声を身近に感じながら、とことん地域に密着した看護部を実現したい。また、看護の素晴らしさ・楽しさを地域の子供達に伝える為の活動もしていきたいと考えています。

最後に・・・、目標は行動する為にあるもの。どうせ働くなら、行動を起こすなら、楽しみながらやれるといいですね♪



<看護部目標概念図>



今年も頑張るんだ、
淳子・・・
応援してるよ♡

平成 24 年度教育方針

現任教育委員会 委員長 水谷英子

みなさん！また新しい年度がやってまいりました。平成 23 年度研修はいかがでしたか？
23 年年度は、キャリアアップ研修元年でした。今年は、更にバージョンアップした企画を予定しております。さて、平成 24 年度の教育計画の特徴は、副主任研修を 4 コースに分けました。その中で、各認定看護師の講義を入れています。また、看護倫理を取り入れた研修もあります。キャリアアップ研修では、初級コース、上級コースを企画しより実践で生かせるように実習形式を取り入れています。卒 7 年以上研修では、自己の興味がある事項についてより一層、年間を通して取り組んでいただくようにしていきます。日々医療は進歩しています。これからも、皆さんを応援していきますので今年度も現任教育委員会を宜しくお願いします！最後に研修生の声です。「共に学習することが出来、グループで話し合うことが楽しかったです」＝管理研修＝

病院祭特集

3 月 18 日病院祭が行われました。職員約 150 人がボランティアとして参加し、たくさんの地域の人たちに来て頂く事ができました。



研修のお知らせ

実地指導者研修 4 月 20、27 日

ローテーション引継ぎ会

今月のハッピーさん

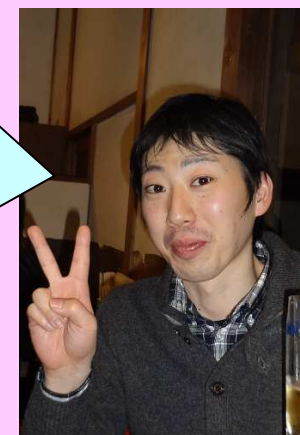
3 階病棟 瀬瀬 亮さん 第 1 子 末波ちゃん
2 月 27 日 3400 g

退職者

研修医 山口 洋平 先生

5 階病棟 犬塚 渡さん お疲れ様でした。

育てていただきありがとうございました。これからも、常滑で教えて頂いた事を生かして頑張っていきたいと思っています。

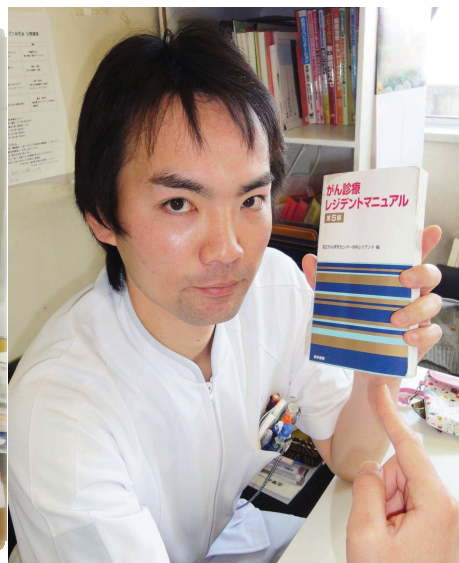


平成 24 年度認定看護師活動方針

感染管理認定看護師

牧野 みゆき

「院内感染」という用語は現在ありません。今は病院だけで医療が行われる時代ではなく、地域施設への医療移行がすすんでいます。そのため院内だけではなく広域な考え方が必要となり、「医療関連感染」という用語に変わっています。医療関連感染を防ぐには、院内のみではなく地域を含めた対策が重要であると言われています。毎年のように耐性菌による問題が日本中、世界中を騒がせていますが、きまって「情報が速やかに共有されなかった」「連携がうまくいかなかった」などの組織やその体制についての問題があがってきています。平成 24 年 4 月の診療報酬改定においても、地域連携の重要性があがってきています。今後は常滑市民病院だけではなく、近隣病院と連携し知多半島全体の感染対策が向上するように努めていきたいと思っています。



がん化学療法認定看護師

原田 拓也

昨年度は認定審査に合格でき、本格的に活動させていただきました。各部署をラウンドさせていただき、医師・看護師・薬剤師・理学療法士などいろいろな方に声をかけていただけになりました。

今年度の活動としては、引き続きラウンドをさせていただきながら、まずは患者も医療者も補助婦さんも安心・安全・安楽にがん化学療法を行えるように学習会・マニュアル整備を行っていきます。その他、がん化学療法における副作用の対応が誰でも一定のレベルで行えるように勉強会・マニュアル整備を行います。例えば悪心・嘔吐は急性・遅延性・予測性と分類され、対応も使用薬剤も異なってきます。患者の悪心・嘔吐はどの分類か、どう対応すべきかを勉強会やマニュアルで提示したいと考えています。副作用の対応がスタッフそれぞれで行えるように、常滑のがん化学療法管理の質の向上に努めていきたいと考えています。



摂食・嚥下障害看護認定看護師

岸岡 陽子

高齢化が進み、入院患者さんの年齢も高くなると共に、摂食・嚥下障害により、栄養状態の悪化や肺炎の発生なども増えてきています。しかし、数年の間に、病棟スタッフの摂食・嚥下障害を発見する力も向上してきており、コンサルテーション件数も昨年は過去最高の 228 件でした。

摂食・嚥下障害というものは、1 日では目に見えた改善は見られず、時間をかけて訓練を継続していく事で、今まで経口摂取できなかった人が口から食事をする事ができ、誤嚥を起こさず日々過ごせるようになっていきます。訓練は、病院だけのものではなく、退院後も継続が必要です。患者さんの QOL を維持する為にも、退院先の施設スタッフや家族に、摂食・嚥下障害について理解してもらう必要があり、訓練の継続や摂食条件の維持など、退院指導に繋がられる様、今年度も研修を行ってこうと考えています。患者さんが美味しくご飯が食べる事が出来る様、一緒に頑張っていきましょう。



皮膚・排泄認定看護師

松本 昌樹 松浦 美都

今年度は診療報酬改定の年でした。それに伴い褥瘡に関する診療報酬の削減がありました。皮膚・排泄ケア分野にとって痛手でもあります。今後は褥瘡ハイリスク患者加算の取得を実施していきたいと思っています。教育に関しては年次教育・キャリアアップ研修を行い、一緒にレベルアップを目指していきたいと考えています。そして、今年のキーワードとして「連携」を念頭におき、近隣病院・他施設（老健・学校）・地域施設などと協力・協同して活動していきたいと思っています。



がん性疼痛看護認定看護師

尾之内 赤実

『がんの患者さんにご家族を支え続けられる看護師になりたい』という気持ちから、がん性疼痛看護認定看護師を志し、認定看護師認定審査に合格、活動を始めてから、早いもので 1 年が経とうとしております。

現場では自分自身の未熟さを痛感し、落ち込む日々…。でも、こんな時ほどスタッフの方達や患者さん・ご家族からの笑顔や励ましのお言葉が心に染み、皆さんあつての自分を実感し感謝するのと同時に、挫けず前に進もうという活力となっています！！

今年度はがん性疼痛緩和指導料の習得・コンサルテーションの確立と前年度以上に痛みに苦しむ患者さん・スタッフに寄り添える様に頑張ります。また、諸事情によりコンサルテーション方法を変更しております。コンサルテーション等に関するご質問は認定看護師までお気軽にお声をかけて下さい。ご迷惑お掛けしますがご協力お願いいたします。

発行が遅れてすいません。気持ちを新たに今年も頑張ります。（近藤）

